

2026年秋、山口県でデスティネーションキャンペーン開催決定

JR グループ6社と地元行政が協働して地域の新たな観光の魅力を発信し誘客する大型観光キャンペーン、デスティネーションキャンペーンが、2026年秋（10月～12月）に山口県で開催することが決定しました。

山口県での開催は、1991年に始まり今回が5回目となります。

今後、キャンペーンの具体的な内容等を検討するとともに、山口県の魅力を最大限発信できるよう、新たな観光素材の発掘やプロモーションなどの諸準備に、一体となって取り組んでまいります。

【参考】

○デスティネーションキャンペーンについて

デスティネーションキャンペーンはJRグループ6社が、地元行政、観光事業者、旅行会社と一体となって行う広域かつ継続的な観光宣伝事業です。1978年（昭和53年）11月、当時の国鉄が和歌山県と実施した「きらめく紀州路」キャンペーンがはじまりで、近年は基本的に四半期ごとに対象地域を決めて実施しています。

○これまでの山口県のデスティネーションキャンペーンの開催状況について

年度	期間	キャッチフレーズ	開催概要
1991年 （平成3年）	4～7月	ドラマチック山口	歴史舞台にも登場する遺跡、史跡等、日本の歴史ドラマの舞台である山口を紹介
2001年 （平成13年）	7～9月	きららのくに 深呼吸	「山口きらら博」と県内観光地をセットにし、県内丸ごと博覧会場として、キャンペーンを展開
2008年 （平成20年）	7～9月	はじめてなのに、 なつかしい。 おいでませ山口へ	観光列車「みすゞ潮彩」やSLやまぐち号をはじめ、「山口どこでも紙芝居」などを実施
2017年 （平成29年）	9～12月	維新の風が誘う。 おもしろき国 山口	2018年（平成30年）の明治維新150年に向け、幕末維新をテーマに展開した観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」の中核事業として「歴史」「自然」「食」「温泉」「体験」「おもてなし」の6テーマで特別企画等を実施